

## 算数オンライン塾 2月13日の問題 解説

---

(解説)

(1)

最初2校のボートは4015m離れていました。両方のボートの長さの和は、

$2.6+2.4=5\text{m}$  ですから、すれ違い終わるまでには両校のボートは合計

$4015+5=4020\text{m}$  移動しなければなりません。

$4020\div 6=670\text{m}$  が両方の速さの和になります。

$21\text{ km}=21000\text{m}$  ですからP校の分速は  $21000\div 60=350\text{m}$  ですから、Q校の分速は

$670-350=320\text{m}$  で、 $320\times 60\div 1000=19.2\text{km}$  の時速になります。

(答え) 19.2 km

(2)

先端だけを考えます。 $19.8\times 1000\div 60=330\text{m}$  がP校の静水での速さです。

Q校の最初の分速は  $330-5=325\text{m}$  でした。

追いついたところが  $4015-11=4004\text{m}$  のところになります。

流速は分速  $3300\div 60=55\text{m}$  ですから、P校の下りの分速は  $330+55=385\text{m}$

Q校の最初の下りの速さは  $325+55=380\text{m}$

$325\times 0.04=13$  より速さを変えた後は  $325+55+13=393\text{m}$  です。

$4004\div 385=10.4$  分

$(393\times 10.4-4004)\div 13=83.2\div 13=6.4$  分から

$380\times 6.4=2432\text{m}$

(答え) 2432m